

# Interview インタビュー

## あなたのからだは あなたのもの あなたが決める 権利を伝えたい

包括的性教育とは

### YouTubeで性教育を始めようと思ったきっかけは？

#### 助産師として性教育の大事さを痛感

私は、助産師・看護師・保健師の免許を取得して、総合病院の産婦人科で出産のお手伝い、赤ちゃんやお母さんのケアをしていました。助産師の仕事は幅広く、自分は何を調べていこうかと考えていくうちに、お母さんたちと話すうえで性教育の大事さを痛感することが多く、性教育に関心をもつようになりました。社会人3年目から、民間の資格を取得したり、絵本を読んだり、セミナーを受けたり、性教育の勉強をしました。さらに、助産師団体の性教育の部会に所属し、地域の子どもたちに性教育を行う活動を始めました。

包括的性教育とはどんなもので、今までの性教育と何が違うのでしょうか。性教育YouTuberとして、子どもたちが知りたかった正しい性教育の動画を配信してきたシオリーヌさんに、なぜ包括的性教育が必要か、学校の教材『コロカラBOOK』について、包括的性教育のことを親はどう子どもに伝えたらいいのか、若い人たちに最も知ってほしい権利などを語っていただきました。

#### 動画なら多くの子どもに伝えられる

性教育の勉強をしていくなかで、子どもたちが安心して相談したいと思える大人でいるために、どんな態度で、どんな言葉を選べばいいか、話をするスキルも身につけたいと考えるようになりました。そこで、普段から思春期の子どもたちと接することができる精神科の児童思春期病棟の看護師に社会人4年目に転職しました。子どもたちに性教育の話をしたり、患者さん向けの性教育のプログラムを立ち上げたり、近隣の学校で講演活動も行いました。しかし、講演で会える人数は限られていて、1回90分の講演で伝えられることにも限界があります。性教育は幅広く、子どもたちに知ってほしいこと、伝えたいことがたくさんありました。そこで、動画を使って広く発信すれば、

子どもたちに気軽に性教育の情報にふれてもらえると思ったのです。病院勤務をしながら、2019年2月にYouTubeをスタートしました。

当初は、フルタイム勤務から非常勤に変えてもらい、勤務日数を減らして、休日に動画制作を行っていました。病院の方たちが私の活動を理解してくださり、応援してもらえたので働きやすく、私自身は病院の仕事も大好きでしたね。しかし、徐々に性教育に関する仕事をいただくことが増えてきて、もっともっとやりたいと思うことがたくさんあったので、今しかできないことをやってみようと思った。YouTubeを始めて半年後に病院を辞めて、そこからは個人で講演や、動画配信、書籍執筆などさまざまな方法で性教育を伝えてきました。

#### 若い世代の反響がやりがいに

YouTubeでは「性的話をもっと気軽にオープンに」をテーマに、性の知識を学べる動画を配信。当初は、そもそも性教育について発信している人がほとんどいない時代だったので、ギョッとしている反応が多くみられました。しかも20代の女性が、顔を出して、名前も出して、性教育を語るなんてビックリ！みたいな感じ。



### シオリーヌ(大貫 詩織)さん

株式会社Rine 代表取締役  
助産師/性教育YouTuber  
総合病院産婦人科、精神科児童思春期病棟にて勤務ののち、現在は学校での性教育に関する講演や性の知識を学べるイベント等の講師を務める。

YouTubeチャンネルでは、性の知識を気軽に学べる動画を配信中!

